



NPO 法人 和光・緑と湧き水の会 会報発行 2016年1月号 代表理事 高橋絹世 (462-9912)

身近な自然を知って守り伝えよう <http://wako-wakimizu.org/>

	全体会	新倉ふれあいの森	白子・大坂ふれあいの森(地域の会と協力)	樹林公園
28年2月	岩宿遺跡と渡良瀬遊水地研修会 1月22日(金) 富澤湧水前 8時出発、上谷津 8:15 出発	20日 定期保全	13日白子宿富澤保全 モニ 1000 調査とササ刈り 17日大坂保全協力	
28年3月	27日(日) カタクリ・ニリンソウを訪ねるエコツアー NPO 自然観察指導員埼玉に協力	19日 定期保全	12日白子宿富澤保全 16日大坂保全	

## 1. 岩宿遺跡と渡良瀬遊水地研修会資料 1月22日 (参加者27名です)

### 岩宿遺跡と博物館

群馬県みどり市にある旧石器時代の遺跡です。1946年(昭和21年)頃、当時在野の考古学者であった相沢忠洋によって発見されました。それまで土器時代以前の日本列島に人類は居住していなかったとされた定説を覆し、日本にも旧石器時代が存在したことが証明されました。これ以降、日本全国において旧石器時代の遺跡の発見が相次ぎます。1979年8月(昭和54年)国の史跡に指定。日本列島の人類史を書き替えた岩宿遺跡。岩宿遺跡の発見以来、約3.5万年前から列島に展開された最古の日本歴史です。岩宿博物館では、約3.5万から約1.3万年前の昔に日本列島に展開された人類の生活を、全国的な規模での展示資料を通して再現しています。また、展示は映像を多く導入し、小学生でも理解できるようわかりやすく説明しています。



岩宿1石器文化の石器 (約3万年前)



ハシビロガモ



ダイサギ

### 渡良瀬遊水地・湧水地の歴史と自然

渡良瀬川は、群馬・栃木の県境にある皇海山(2,143m)に源を発し、桐生市、足利市の中心から南東に流下し栃木市を通り、茨城県古河市地先で利根川本流へと注いでいます。流域面積2,602km<sup>2</sup>、流路延長107.6kmの利根川水系最大の支川。渡良瀬遊水地は、栃木県の南端に位置し、栃木・群馬・埼玉・茨城の4県にまたがる面積33km<sup>2</sup>、総貯水容量2億m<sup>3</sup>の我が国最大の遊水地。明治23年、29年の洪水を契機に、下流部の洪水被害とともに、足尾銅山から渡良瀬川に流れ出した鉱毒による被害は明らかになりました。渡良瀬川の改修や最下流部に遊水地計画が打ち出され、明治40年までに930町歩余りが買収され、谷中村は藤岡町に合併廃村となり、昭和5年には渡良瀬遊水地が完成しました。

平成24年国際的に重要な湿地の基準に該当したとしてラムサール条約湿地に登録されました。遊水地の機能を保持するために、ヨシ原や沼を自然に近い形で残し、その緑豊かな広大なヨシ原には、貴重な動植物が数多く確認されています。低地における広大な自然環境が保全されている「自然の博物館」ということができます。